

第18回核戦争反対医師・医学者のつどい

発足20周年、京都に300人超が参加

「第18回核戦争に反対し核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい」が9月23・24日、それぞれ京都市の立命館大学・京都産業会館シルクホールで開催され、全国から300人を超える人が参加した。今年が発足20周年の年にあたり、「NO核兵器、LOVE平和憲法」20周年に新たな決意「IN京都」をメインテーマに開かれ、協会からはつどい実行委員長の上山紘志副理事長、伊津進弘理事長をはじめ委員・家族・事務局あわせて16人が参加した。以下、山上紘志実行委員長からの報告を掲載する。



山上 紘志
(つどい実行委員長)

今回京都で開催された第18回つどいは質・量ともに大成功でした。ご支援、ご協力をいただいた参加者、関係者に深く感謝いたします。

2題の特別講演——「JPPNWの活動」片岡勝子JPPNW(核戦争防止国際医師会議日本支部)事務総長、「核はなぐさ I can, You can」

We all can」ティルマン・アルフレッド・ラフIPPNW(核戦争防止国際医師会議)オーストラリア代表「はいずれも示唆に富んだ内容で、核戦争反対・核兵器廃絶への具体的な行動提起とその明確な展望を提示してくれました。シンポジウム「東アジアの非核、安全保障と日本国憲法」で

参加者は延べ人数335名。その内訳は、医師・歯科医師・医学者が139名、医学生が34名、医療関係者・事務局が92名、市民が60名、その他が10名でした。つどい20周年にふさわしい企画と史上2番目の参加者で、メインテーマを参加者全員で共有できたことを報告します。

つどい終了翌々日の26日、ラフ氏の講演が医科協会でありました。そこでは、医療用高濃縮ウランが核兵器に転用できる報告があり、衝撃を受けました。スーツケースに収まる小型核兵器が製造されている事実とあわせて、医療関係者とその危険性を喚起することを痛感しました。

来年のつどいは金沢で開催の予定です。会員、事務局の熱い思いをこめ、ご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。

本年4月より改正医療法が施行され、歯科・歯科を問わず、また病院診療所を問わず、安全な医療を提供するためのガイドラインの策定が各医療施設開設者に義務づけられることになった。その

11月度生涯研修の抄録 [日時 11月18日(日)午前10時～午後1時] [場所 M&Dホール]

「歯科診療所における院内感染防止策 —感染リスクの評価と標準的対応—

駒井 正 (宝塚市国民健康保険診療所 歯科口腔外科)

骨子は、医療を受ける者の生命の安全を設備の点検を含めて日常的に実施すること、未だに後を絶たない院内感染の発生を防止することにある。

歯科においては、かねてより院内感染防止について努力が重ねられ、現在では医科の診療所と比べてもそれ以上の高いレベルの対策が講じられていることは周知のことである。しかしながら、感染のリスクは自然気象の変化や社会生活の変化と連動して年々変化・変質するものであることを考えれば、弛まぬ努力と工夫を積み重ねるべきものである。そのような観点から、今までに獲得してきた成果を見直しながら、その後の新しい知見を紹介してみたいと思う。

もうひとつ重要なことは、感染防止＝無菌化ではないということである。耐性菌の出現はこの考え方の追求の中から生まれてきたものであり、すでに消毒薬耐性菌の出現という段階に至っている。視点を改めて、感染防止＝菌の感染力抑制・耐性菌の出現防止という目標を設定するべきである。その方法こそ開業医が取り組める感染防止の標準策ということになる。今回は私自身が行ってきたさまざまな研究結果を紹介して、これからの感染防止対策について以下の諸点について知見を述べたいと思う。

- (1) 診療室の空気汚染対策—微小粉塵の除去とオゾン・フイトンチッドの役割
- (2) 器具の滅菌—薬剤滅菌・高圧滅菌と高温オイル滅菌
- (3) エアタービンの滅菌—「テゴ51」と高温オイルの効果
- (4) 口腔の汚染源のとりえ方と義歯汚染の評価
- (5) ウイルス感染と滅菌対策

ウォーキング

長崎 三男 (住之江区)

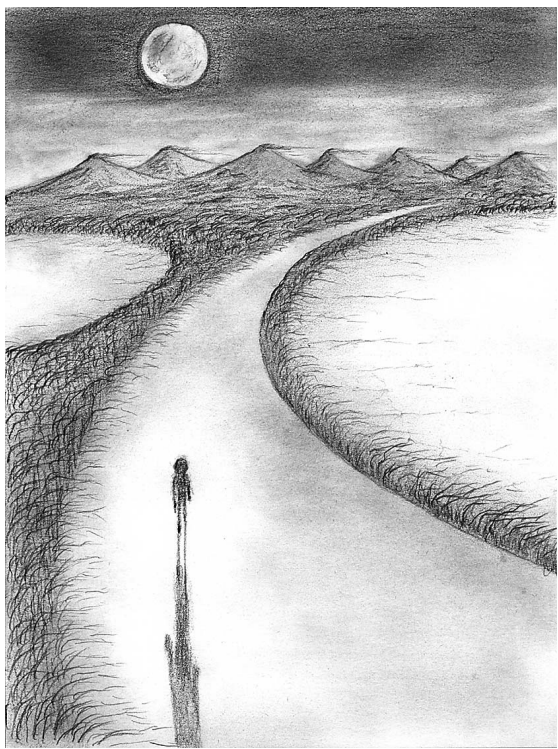


リレーエッセイ 226

早いもので今年、開業20周年を迎えた。当初、車で通勤していたが、運動不足を考慮して自転車通勤に切り替えた。10年程前から徒歩通勤をして



的効果が大いにある。歩き始めは少しでも早く歩くことに喜んでいたが、結局はマイペースが一番であることが解った。自分の気持ちのよいリズムで歩いていると、周囲の騒音や人込みが気にならなくなり精神が統一されて行くようである。その日にあった嫌な事や反省点を反芻し



絵 藤田 進氏 (河内長野市)

ていると気分がリセットされて、自宅に着くころにはなんとかきずらずに済んでいる。男性更年期

期世代の自分としては、後何年続けられるのやら不安に思うこともあるが、体力の続く限り歩き

たいと思う。自転車通勤に変えた時、車では得られない体に感ずる季節の風がとて

も心地よかったが、歩いてみるとさらに見えなかった物に気付かされる。スローライフは歩くことから始めたい。これからは牛歩のペースで人生を歩みたい。歯科医師生活を全うしたいと思う。旅装を解いてわらじをきくと置くとき、私の眼前に広がる物は何か、歩きながら考えてゆこう。

長崎三男先生ありがとうございました。次回11月15日付は長崎先生のご推薦で辻本憲吾先生(住之江区)にバトンタッチされます。どうぞご期待ください。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

女性医師・歯科医師の会主催
「認知機能の発現の仕組みと改善策—脳を知って元気に生きよう—」
日時 10月20日(土) 午後2時30分～4時30分
会場 保険医会館 定員 40人
講師 玄番央恵氏(前・関西医科大学生理学第二講座教授)
会費 会員無料、未入会者1万円

港・大正地区

「訪問診療への取り組み方」

日時 10月20日(土) 午後6時30分～8時30分
会場 弁天町市民学習センター(JR環状線・地下鉄中央線「弁天町」駅すぐ)
講師 華房英樹氏(岡山市開業)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 60人

10月度生涯研修

「一般歯科臨床医に役立つ臨床矯正について」

日時 10月21日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 濱田充彦氏(大阪歯科大学歯科矯正学講座講師)
会費 会員3千円、未入会者1万円 定員 1000人
※生涯研修カードをご持参ください。
※定規とペン(2色必要)をご持参ください。

受付助手向け講習会

「初歩的な歯科医療受付事務について」

日時 10月27日(土) 午後6時～8時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 社保研究部講師団 定員 1000人
会費 会員・会員院所スタッフ無料、未入会者1万円
※「アシスタントのための歯科保険診療ハンドブック2007年版」をご持参ください。

経営講座「歯科医院の経営展望」

日時 11月4日(日) 10時～16時
会場 (第1部)10時～12時 (第2部)13時～16時
M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 第1部 佐飛淳一氏(協会税理士団) 実践編「予防と医院の活性化」
第2部 坂井秀明氏(寝屋川市開業) 含む。ただし、第1部または第2部のみの参加は、昼食なしで3千円 定員 1000人
※月刊保険連増刊号「歯科医院の経営展望」誌(11月1日着予定)をご持参ください。

費用

会員5千円(未入会者は3万円)・昼食弁当代含む。ただし、第1部または第2部のみの参加は、昼食なしで3千円 定員 1000人
※月刊保険連増刊号「歯科医院の経営展望」誌(11月1日着予定)をご持参ください。

保険医協会・眼科部会研究会

「めまいの臨床」—眼科関連領域疾患における他科からの提言—

日時 11月10日(土) 午後3時～6時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
講師 高本博行氏(高本歯科医院) 荻野仁氏(荻野耳鼻咽喉科) 小坂理氏(北野病院神経内科)
会費 会員無料、未入会者1万円

未入会者とは、協会に加入することができる歯科医師です。協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。